

令和 6 年度 第2回 東陽中学校運営協議会 会議録(要点記録)

- 1 開催日時 令和 6 年 7 月 2 日(火) 14時00分～15時30分
- 2 開催場所 東陽中学校会議室
- 3 出席委員 大橋 美義、吉春 辰郎、高林 昇、増谷 方明、小田 明美、飯塚 正師、中村 健二
- 4 欠席委員 山田 玲子、藤田 眞弓
- 5 学 校 中野 敬之(校長)、松下 直由(教頭)、柏木 直人(教務主任)
乾 由佳(CS ディレクター)
- 6 教育委員会 井島 健蔵(教育総務課)
- 7 傍 聴 者 古橋 一哲(南陽協働センター)
- 8 会議録作成者 CS ディレクター 乾 由佳
- 9 議長の選出

今年度は順番で議長を務めることになっており、今回は飯塚さんに議長を務めて頂くことを全員意義なく承認した。

10 協議事項

(1)キャリア教育の実践(職場体験)について

11 会議記録

教頭から、委員総数9名のうち 7 名の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1)キャリア教育の実践(職場体験)について

別紙参照(P.3～6)

- ・一覧表を見ると 10/17.18 両日受け入れ出来ないところがありますが、そういったところには行かないということですか。(飯塚委員)
- ・なるべく両日可能な所がいいなと思っています。(教頭)
- ・そうすると20数名分減ってしまうことになりますよね。(飯塚委員)
- ・時間は何時から何時。(吉春委員)
- ・おおよそ午前9時から午後3時のところが多いです。(教頭)
- ・去年は午前中だけのところもありましたよね。(飯塚委員)
- ・場所によっては、例えば西郵便局さんは午前中のみということなので、また別のところと組み合わせを考えています。詳しい時間帯も夏に行ったときに話をする予定です。(教頭)
- ・企業さんには生徒さんたち自身で行くのですか。(飯塚委員)
- ・はい、3年生で行く修学旅行の際も公共交通機関を使つての移動になり、その練習にもなるので、基本は公共交通機関を使うことになっています。ただ、交通の便が悪いところは、やむを得ず保護者の方々にお願いするケースもゼロではありません。(教頭)
- ・近かったら自転車で行く方法もあるのですか。(吉春委員)
- ・先方に駐輪場があり、生徒たちが自転車でマナーを守っていくというのが前提となりますが、交渉する必要があります。(教頭)
- ・服装は。(吉春委員)
- ・基本は校内服・ジャージ着用ですが企業さんによっては制服や作業着を貸与してくれる場合もあります。基本は中学生が体験しているのだなと見て分かるようにしています。(教頭)
- ・けがをした場合などの、保険はどうなっているのですか。(吉春委員)
- ・学校の活動内用の保険をかけています。あとは各家庭で個別に入っているものです。(教頭)
- ・特別に保険に入るわけではないでしょ。(大橋会長)
- ・そうです、既存の保険を適用します。(教頭)
- ・教育課程内、つまり校内で事故が起きた時、対応するのと同じものですね。(大橋会長)
- ・そうです、カバーされる範囲が決まっているので、場合によっては生徒個人の保険を利用する可能性もあります。基本的には学校の活動内での保険となります。(教頭)

- ・受け入れ側の対応だし、例外がものすごく多いと思う、全部一律にというのは難しい。しかし社会に出ればイレギュラーな事の連続なので、それもいいのかなと思う。ただ生徒たちにとって、実際に近いけれど行きにくいという場所もある。例えば、都盛町のマクドナルドなんかも、バスで行くにしても乗り換えが必要。あとは薬新町なんかも、一度浜松駅まで行って乗り換え。ただ、それもいい勉強と言えばそうなのかな。(大橋会長)
- ・そうですね、何時集合だから、何時に出発して、何時のバス、電車に乗り、集合時間に間に合うように行というのを考えるという事も社会勉強の一つだと考えています。(教頭)
- ・学校側が利便性を考えるのは本当に大変なこと。(大橋会長)
- ・そういった観念からも、受け入れ側を拡大すれば、生徒たちの選択肢も増え、学校側もある程度選択して、生徒達に伝えられるのかなと思います。そのために皆さんにこういったところが受け入れ可能か名前を挙げてもらえれば、学校と私で事業所さんに尋ねていきます。(飯塚委員)
- ・一つの事業所に何人ずつ行く予定ですか。(吉春委員)
- ・1名だと、万が一その生徒が体調不良等で欠席した場合、先方に迷惑が掛かってしまいますので、2～4名など複数名は必ず入れるようにしています。(教頭)
- ・それでは、皆さんがお声掛けしてくださった事業所さんを紹介して頂きましょうか。(飯塚委員)
- ・何件くらいあるかだけでも、教えていただけますか。(教頭)
- ・私は1件。(大橋会長)
- ・私は全部で8件です。(吉春委員)
- ・お二人がお声掛けしてくださった事業所を紹介させていただきます。大橋会長は中日新聞、東海本社、薬師町。(飯塚委員)
- ・過年度も受け入れしていて、娘が働いているので、担当させてもらいます。(大橋会長)
- ・吉春さんが沢山出して下さって、東町の矢崎エナジー、とびあ浜松南センター、農産物集荷、販売、北化成、THK、ディファイン、共栄製作所、共和レザー、南消防署芳川出張所です。皆さん、他にもあれば教えてください。例えば、人数を増やせるとか。(飯塚委員)
- ・僕はソミックで働いているのですが、担当者は佐藤という者になると思うのですが、彼と話しをした時に、ソミックでも色々な工場があるので、早めに行ってもらえれば、古川だけでなく、他の工場でも受け入れ可能だよということでした。去年も受け入れしていて、体操服で来てもらったのですが、怪我があったら困るので、工場で作業着、安全靴を貸与してやってもらっていました。3部署に1人ずつ分かれて、順番に一ヶ所ずつローテーションで回っていく感じでしたね。昼食を食べて午後は車の授業みたいなことをやったと聞いています。自分の方からも佐藤に人数を増やせないかという話はしてあります。佐藤が言っていたのは、人数が多いと生徒一人一人に付き添っていたので、10人来るとそれだけ付き添いにまわると自分たち本来の仕事が回らなくなるので、3人を5、6人くらいまでかなと思います。そして、遠くの工場に行く場合は会社のバスを出すと言っていました。(増谷委員)
- ・協働センターさんの方はいかがでしょうか。(飯塚委員)
- ・この辺りにはあまり行政機関がないので、目新しいものはなく、図書館ぐらいになってしまいます。(古橋オブザーバー)
- ・私は建設会社に打診しているので、また後程教頭先生に御連絡させていただきます。(高林委員)
- ・私の方も今、土建関係、メッキの会社、自分の会社で話をしているので話がまとまり次第、学校に連絡させていただきます。ただ体験しただけでは、何も残らないので、事前、事後学習の充実を図る必要があるのではないかと思います。私が去年関わらせて頂いた中で、職場打ち合わせは一軒一軒、先生方が回っていて、時間がかかり、先生方の負担が大きいと感じたので、なにか良い方法はないか意見を出し合ってもらいたい。(飯塚委員)
- ・先方には学校から連絡があると言ってしまってきた。電話でもいいのでは。(吉春委員)
- ・これまでは基本直接行ってお話してきています。それは子供達の安全面の下見の意味も含めて。中には例年のことだから電話でいいよと言ってくれる所はそうしている。(教頭)
- ・今まで、何回も行っていて内容も分かっている事業所については電話でもいいと思うが、新規の事業所は必ず直接行った方がいいのではないかなと思う。(小田委員)

- ・コロナ明け二年目ということもあるので、会社側の様子と先生方の都合と併せて考えていければいいのでは。(飯塚委員)
- ・先生方の負担を軽減していくという方向は必要だが、例えば修学旅行、野外活動は必ず下見に行くのと同じ様に、今回も直接行くのは大事だと思う。下見に行かずに何かあった場合、すぐ聞かれると思う。法的に必要なと思う。増谷さんの話を聞くと、ものすごく手厚くやってくれるわけですよ。中学生を預かるのは結構大変なことだと思う、受け入れ側にも負担はかかっている。学校として事前に見に行くという事は絶対に欠かせないことだと思います。(大橋会長)
- ・受け入れ企業は、SDG'S に必ず取り組んでいないとだめですか。(高林委員)
- ・すべての企業が取り組んでいるわけではないが、多くの企業でSDG'S についての取組を聞いているので、生徒達もそれを学んで来られるのがベストかなと考えています。ただ必ず取り組んでいないとダメということではありません。(教頭)
- ・昨年、事前学習の一つで、講師の先生をお呼びして、マナー講座を開催して『働く意味とは。』を学びましたが、今年は何か意見があればお聞きしたいのですが。(飯塚委員)
- ・メインはマナーですか。(中村委員)
- ・マナーは今日浜松いわた信用金庫の方をお招きして、挨拶の仕方などをやっている。マナー講座はもう少し踏み込んで内容の話を聞けると、生徒達も意識を持って職場体験に臨める。受け入れ側の立場として、どんな心持ちで来て欲しいのかなど。実は去年は私がやったのですが。それを9/11 か 27 で行う予定です。
- ・未来授業の位置づけとはどんなものですか。(大橋会長)
- ・色々な職種の方がお見えになって、生徒たちがそれぞれ興味のある職種の話を聞きに行くというものです。どちらかという職場体験出来ないような職種で現場の生の声を生徒たちが聞けるといいます。皆さん、共通して働くというのが素晴らしいという事をアピールする位置づけです。(教頭)
- ・もう一つ、事後学習について意見があればお聞きしたいのですが、ちなみに去年は、私の知り合いのベンチャー企業の社長を講師に呼んで、職場体験した生徒たちがプレゼンする際に使用する、PowerPoint や Google スライドの使い方を教えてもらいました。(飯塚委員)
- ・実際生徒たちにも役立ったし、教員からもノウハウを聞いて良かったという声が上がっていました。来てくださった社長さんも『中学生のキラキラした目を見られた』と喜んで帰られた、またそういった声を職員に伝えることで、職員も嬉しい気持ちになり生徒に伝え、お互い自尊心を高めあう効果があり、すごく良かったので、学校側としては今年も来て頂きたいと考えています。(教頭)
- ・プレゼン力を身に付ければ、将来にも生かせるし、自分の気持ちを伝えるのにも役立てられるのではないかと。(飯塚委員)
- ・昨年やって学校側も良かったという事なので、引き続きその方をお願いしたらどうですか。そして、出来れば私たちも見に来たらいいじゃないですか。話を聞いているだけではピンと来ないし、こんな事をやっているのだと理解出来るし、気付くこともある。保護者も見たい方は来たらいいのではないかと。(大橋会長)
- ・では、昨年同様、事前事後学習をやって、それを皆さんに見て頂いて来年以降どうするか考えるという事でよろしいでしょうか。(飯塚委員)
- ・はい(全員)
- ・それでは、日程、詳細が決まりましたら、さくら連絡網で皆さんにご連絡いたします。(教頭)
- ・本日の熟議内容は以上となりますので、まとめますと、①受け入れ事業所について、もう少し候補を出し、受け入れ人数を増やす。(なるべく近場で。)②事業所さんとの打ち合わせは、下見を兼ねて先生がたにお任せする(私達も手伝えることがあればやる。)③事前事後活動は昨年同様に行い、皆さんに見てもらい、来年以降どうするか改めて話し合う。このような感じで、皆さんよろしいでしょうか。(大橋会長)
- ・はい。(全員)

(2)報告〈教頭〉

別紙参照

令和6年に浜松市内全部の学校でコミュニティスクールを立ち上げた。本校は第一期からの3年目になり、我々もそろそろ第2ステージ～量から質への転換～に入っていくのだなと感じました。そして、「対話と信頼に戻づく学校経営」というものは、こちらの委員の皆さんとうまくやっているとはいっていないのではないかと有り難く思っています。いつも熟議を行う中で何が正解なのかと考えながらやっているが、必ずしも最適解が見つかるわけではなく、合意できる方策を見出す納得解が大切であるという事で、普段本校での熟議の仕方、納得して終わることが出来ているので本校は大丈夫なのだなと感じることが出来ました。またいじめや不登校問題についても、長い期間を使って解決していかなといけないと聞いてきましたので、今後に生かしていきたいと考えています。

その他連絡事項

- ・次回は、令和6年 11月 7日(火)14:00～15:30